

令和 4 年度

デジタル田園都市国家構想交付金の事業評価

(旧 地方創生推進交付金、地方創生拠点整備交付金)

1	米沢市版 DMO 設立及び推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリア リボーンプロジェクト・・・・・・・・	4
3	精密加工技術を核とした米沢ものづくりプロモーション事業・・・・・・・・	6
4	廃校校舎のリノベーションによる芸術文化を核とした地域活性化事業・・・・・・・・	8

1 米沢市版 DM0 設立及び推進事業

(1) 計画概要

米沢市版 DM0 を設立し「観光データベースのマネジメント」及び「マーケティング、プロモーションを中心とした観光事業の DX 化」を推進し、データを根拠とする「稼ぐ力」を創出し、持続可能な観光地域づくりを目指すもの。

(2) 実施状況（令和 4 年度実施のうち主なもの）

- 観光関連情報（車両データ）を分析し、可視化の仕組みの基礎設計及び構築
- 地域内の紙クーポンをデジタル化し、データ分析できる仕組みの基礎設計及び構築
- 各観光団体が所有している情報発信媒体の役割分担等の整理、情報発信戦略の策定
- 認知度を向上するため、域内の情報を海外に向けて発信
- 着地型旅行商品の企画及び造成、販売

(3) 効果検証

① KPI（重要業績評価指標）

ア 観光消費額（千円）

年度	2022 (R4. 4) 基準値	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
実数	14,540,000	15,073,000	—	—	—	—
目標値		15,158,000	15,928,000	16,702,000	17,525,000	18,378,000

イ 地域アプリのアクティブユーザー数（人）

年度	2022 (R4. 4) 基準値	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
実数	0	0	—	—	—	—
目標値		10,000	22,000	46,000	61,000	73,000

ウ 観光情報サイトの PV 数（PV）

年度	2022 (R4. 4) 基準値	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)
実数	0	135,000	—	—	—	—
目標値		300,000	660,000	1,020,000	1,380,000	1,740,000

② 検証

- 観光アプリや観光情報サイトの開発及び集約に時間がかかったことやデータを活用した十分なマーケティング、プロモーションができなかったこと、新型コロナウイルス感染症の影響から未達成となった。

(4) 今後の方向性

- 観光 DX 事業における概念実証の中で得られた「気付き」や観光の「強み・弱み」があったので、今後はイベントの目的や実施内容、重要度等を変えていく。具体的には、観光客をイベント開催時に多く呼び込むというよりは、米沢に来てもらうポイントやタイミングを増やし、常に観光客が市内にいるようにすることで観光入込客数の向上や観光消費額の増加に繋げていく。

- 地域アプリは、店舗や観光スポットのデータ、画像、イベント情報などの基礎データに対する事業者の意識を統一し、継続的に運用できるシステム化を図る。
- 情報発信は、各ホームページを生かしつつ統一性を図りながら連携する。また、各種 SNS は、一元管理の仕組みを作り観光情報サイトの充実を図る。

(5) 事業一覧

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業（円）

	事業名 (事業主体)	事業概要・実績	総事業費 (うち交付金)
1	観光デジタルトランスフォーメーション事業 (米沢観光推進機構)	● 観光情報集約プラットフォーム事業 ・車両の画像分析による人流把握における実証実験事業 ・事業者意識データ収集事業 ・デジタルクーポン化事業 ・アプリによる人流及び消費行動の把握における実証実験事業 ・地域内にあるデータの調査、集約データベース構築事業 ・観光動向 BI 構築事業 ・イベントスケジューラー構築事業 ・デジタルコンテンツ管理事業 ・DX 促進のための各種協議会の組織及び運営支援事業 ・Vtuber を活用した海外に関しての影響調査事業	25,000,000 (12,500,000)
2	地域商社事業 (米沢観光推進機構)	● 地域資源の磨き上げ・商品づくり等事業 ・着地型旅行商品の企画及び造成 ・海外に向けた域内の商品紹介及び情報発信 ・海外に向けた商品販売チャンネル構築事業	5,000,000 (2,500,000)
3	事務局運営 (米沢観光推進機構)	● 事務費 ・事務局体制を構築する（人権費、その他経費）	24,757,056 (12,378,528)
4	地域の魅力磨き上げ事業 (米沢観光推進機構)	● 米沢版インバウンド事業 ● 広域観光推進事業	11,784,781 (5,892,390)
合計			66,541,837 (33,270,918)

2 西吾妻山×天元台高原×白布温泉エリア リボーンプロジェクト

(1) 計画概要

西吾妻山・天元台高原・白布温泉エリアを一体として捉え、次世代に残せる魅力溢れるエリアに再生するため、地域外の活力と地元及び関係機関が一体となってハード・ソフトの両面から持続可能な再生事業に取り組むもの。

(2) 実施状況（令和4年度実施のうち主なもの）

- 著名プロスノーボーダーによるデモ滑走等のプロモーション活動を展開し、エリア全体の知名度の向上及び集客を図った。
- 天元台高原を会場に、囲碁と各種アウトドア・アクティビティを組み合わせたイベントを実施した。
- 天元台高原スキー場の冬季誘客イベント（天元台アップデート）や、パノラマ遊覧用圧雪車キャビンを活用したツアーを実施した。
- 温泉街入口や各温泉旅館前に大幟りを設置し、統一感のある景観整備を行った。
- 南原・関地区等と連携し「ミナミハラアートウォーク」を開催し、芸術・工芸品を通じた誘客及び関係・交流人口の拡大を図った。
- 白布大滝を安全かつ手軽に楽しむことのできる参道整備や、天元台高原駅脇に「雲上テラス」の整備を行った。

(3) 効果検証

① KPI（重要業績評価指標）

ア 天元台高原来台者数（ロープウェイ利用者）（人）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	55,000	42,451	42,692	45,849	—	—
目標値		56,000	58,000	60,000	62,500	65,000

イ 天元台×白布温泉街のエリア一帯を回遊した入込客数（人）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	0	1,203	1,203	1,900	—	—
目標値		500	1,000	1,500	2,000	2,500

ウ 西吾妻山一帯におけるトレッキング等の入込客数（人）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	8,200	9,096	8,031	9,622	—	—
目標値		8,500	8,750	9,000	9,250	9,500

エ 白布温泉宿の入湯税額（円）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	3,515,550	2,176,050	2,848,800	2,644,275	—	—
目標値		3,600,000	3,700,000	3,800,000	3,900,000	4,000,000

② 検証

- 天元台高原来台者数は、各種イベント等の誘客効果もあり前年度からは増加したものの、新型コロナウイルスの感染拡大や小雪によりゲレンデ開放が大きく遅れたこと等の影響を受け目標値を下回った。
- エリア一体を回遊した入込客数は、天元台高原と温泉旅館等が連携した割引券の発行等の効果により、目標値を上回る結果となった。
- トレッキング等の入込客数は、市内・県内の日帰りトレッキングツアー等の参加者に加え、県外からのサークル等の団体客が増加したことが要因となり目標値を上回った。
- 入湯税額は新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊客を始め温泉旅館等への入込が以前の水準までには回復せず、目標値を大きく下回った。

(4) 今後の方向性

- 引き続きウェブサイトや SNS 等を活用した効果的な情報発信を行っていくとともに、専門家の支援を受けながら観光客等との関係性構築を重視した PR 活動に取り組むことにより、リピーターや関係・交流人口の増加につなげていく。
- 令和 4 年度から着手した天元台でのキャンプ事業について本格運用を開始するとともに、白布温泉の旅館等と連携したプラン造成などエリア一体の誘客事業を展開する。
- 将来の自走化を見据え、より事業収入が見込めるアクティビティ等のプランニングに取り組むとともに、クラウドファンディングの実施も含め幅広く自主財源の確保を図る。

(5) 事業一覧

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業（円）

	事業名 (事業主体)	事業概要・実績	総事業費 (うち交付金)
1	広告宣伝プロモーション事業 (天元台×白布リボーン協議会)	● 広告宣伝プロモーション ● リボーンプロジェクト運営支援業務	13,991,500 (6,995,750)
2	誘客事業 (天元台×白布リボーン協議会)	● 電動アクティブレンタサイクル(リース代等) ● 特別催事事業 ● 健康長寿推進事業 ● 囲碁アマチュア戦(天元カップ) ● ハード事業維持・管理費	21,072,987 (10,536,493)
3	人材育成事業 (天元台×白布リボーン協議会)	● 人材養成及び情報発信費	1,588,400 (794,200)
4	事務費 (天元台×白布リボーン協議会)	● 事務費(事務局職員給与、事務所賃借料、光熱水費、事務用品リース料、消耗品費等)	10,966,842 (5,483,421)
5	拠点整備事業 (天元台×白布リボーン協議会)	● 交流拠点スペース整備(設計) ● 自然体験施設(白布大滝参道)整備(工事) ● 大織り基礎及び支柱等整備(工事)	22,779,300 (11,389,650)
6	事務費 (観光課)	● 損害保険料	10,440 (5,000)
7	拠点整備事業 (観光課)	● 高原駅雲海テラス(工事) ● 湯元駅情報発信所施設整備(工事)	8,987,000 (4,493,500)
合計			79,396,469 (39,698,014)

3 精密加工技術を核とした米沢ものづくりプロモーション事業

(1) 計画概要

精密加工技術を有する企業が数多く立地する強みを活かし、今後の地域経済を牽引する企業を創出し、製造業の付加価値向上への相乗効果を生み出していくため、市内の産学官金で組織する「米沢ものづくり振興協議会」が実施主体となり、市内企業の販路開拓支援や人材育成支援等を実施するもの。

(2) 実施状況（令和 4 年度実施のうち主なもの）

- 「国内販路開拓事業」として、市内企業延べ 13 社とともに都内で開催の大規模展示会に出展を行ったほか、県外で開催の商談会に参加するなど新規受発注機会の獲得に努めた。
- 「海外販路開拓事業」として、市内企業 12 社とともにドイツ連邦共和国ザクセン州及び関連地域との地域間交流を通じた販路開拓に取り組んでおり、前年度から継続支援する商談案件に関して、市内企業 2 社が 2 件の受発注獲得に至った。
- 令和 2 年度から取り組んでいる「ものづくりビジネスサポート事業」として、販路開拓支援員を任用することにより、市内企業の強みや保有する技術に最適な企業マッチングを行うとともに、商談成約やその後の受注拡大に向けた継続的なフォローアップを行う体制を構築していく。これにより、市内企業は 72 件の新規受発注の獲得に至った。
- 「ものづくり産業人材の育成・確保」として、精密加工企業向けの各種講座等を開講し、延べ 610 人が受講した。

(3) 効果検証

① KPI（重要業績評価指標）

ア 国内及び海外での各種ビジネスマッチング支援事業での商談成約件数（件）

年度	2018 基準値	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
実数	4	7	34	52	74	—
目標値		10	22	40	61	85

イ 各種ビジネスマッチング支援事業で商談成約した取引から派生する地域内企業への受発注及び開発連携の件数（件）

年度	2018 基準値	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
実数	1	2	2	2	2	—
目標値		3	8	15	24	35

ウ ものづくり人材育成に係るセミナー・講座の受講者数（人）

年度	2018 基準値	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)
実数	100	216	122	276	610	—
目標値		110	130	160	200	250

② 検証

- 国内外における商談成約件数は、販路開拓支援員によるきめ細かな企業マッチング支援により目標値を上回る結果となった。

- 取引から派生する地域内受発注及び開発連携件数は、取引に含まれる企業経営上の機密情報の取扱いが難しく、他企業に公開可能な情報が限られたことから、成約に繋げることができず目標値を大きく下回った。
- セミナー・講座の受講者数は、実会場とオンラインを併用し開催するとともに企業ニーズに沿ったテーマを設定し、受講者の獲得に努めた結果、目標値を大きく上回る結果となった。

(4) 今後の方向性

- 計画の最終年度となる令和 5 年度は、引き続き変化の著しい国内外の経済情勢の動向を注視し、支援員の活動を中心とした販路開拓支援事業とオンライン講座等の開催を基本とした人材育成事業に取り組むなど、本市ものづくり産業の一層の発展を目指し、積極的な事業展開を継続していく。

(5) 事業一覧

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）活用事業（円）

	事業名 (事業主体)	事業概要・実績	総事業費 (うち交付金)
1	地域ものづくり企業の 販路開拓支援事業 (米沢ものづくり振興協議会) ものづくりビジネスサポ ート事業 (米沢ものづくり振興協議会)	● 国内販路開拓事業 ○機械要素技術展及び高精度・難加工技術展 共同出展等、販路開拓支援 ● 海外販路開拓事業 ○ドイツ及び関連地域における販路開拓 ● ものづくりビジネスサポート事業 ○販路開拓支援員による企業支援	17,453,066 (7,996,000)
2	ものづくり産業人材の 育成・確保 (米沢ものづくり振興協議会)	● 各種スキルアップセミナー・講座の開講 ○米沢地域共通鉛フリーはんだ付け技術・認定講座 (R4.11、R5.3) ○精密加工企業向け基礎技術講座 ・中小企業経営者向けデジタル活用セミナー ・不良を削減するための品質管理講座 ・生産性アップのためのコストダウン講座 ・Google を活用した業務効率化セミナー ○山形大学研究シーズセミナー ・やわらか素材×3D プリント技術の最新研究 ○経営者講演会 ・夢をかなえる脳～脳科学で伸ばす経営力～ ○米沢駅コワーキングスペース「ものづくり 共創オンラインセミナー」 (R4.4～R5.1、計 5 回)	3,409,244 (625,000)
3	その他 (米沢ものづくり振興協議会)	● その他事務費等	41,860 (0)
合 計			20,904,170 (8,621,000)

4 廃校校舎のリノベーションによる芸術文化を核とした地域活性化事業

(1) 計画概要

旧南原中学校（H31. 3 閉校）の一部を活用し、特色ある地域づくりを推進するため、芸術作品等の創作活動を行うレンタルスペースとして使用できるよう施設設備等の改修を行った。令和 3 年度からは、以下の目的に沿った事業を行っている。

- ① 様々な芸術家等を本市に呼び込み、交流人口や関係人口の増加を図るなど、芸術文化活動を切り口にした地域活性化を目指す。
- ② 南原地区を中心に本市の新たな芸術文化の発信拠点の形成を目指し、本市の芸術文化の新たな展開を促す。
- ③ 若手芸術家の育成とともに芸術文化活動の活性化を図る。

(2) 実施状況（令和 4 年度実施のうち主なもの）

- 芸術創作活動施設の名称で運用を開始した。令和 3 年 6 月から、本市に縁のある日本画家 福王寺一彦氏が本市での創作活動拠点として利用を始め、令和 4 年度は世界遺産高野山 金剛峰寺に奉納する襖絵等の制作を開始した。
- 令和 3 年 7 月芸術の杜事業実行委員会を発足し事業を開始した。青年会議所主催事業 ミナミハラアートウォークへの共催により、福王寺氏関連作品を展示した。
- 令和 4 年 4 月に南原コミュニティセンターが新施設に移転したため、解体前の旧コミュニティセンターで、ペイント企画を実施した。

(3) 効果検証

① KPI（重要業績評価指標）

ア （仮称）アートステーションにおける年間創作作品発表数（点）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	0	0	0	0	—	—
目標値		0	5	15	35	60

イ ワークショップ実施回数（回）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	0	0	0	1	—	—
目標値		0	6	24	48	48

ウ 南原コミュニティセンター年間利用者数（人）

年度	2019 基準値	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
実数	14,971	5,152	6,560	10,765	—	—
目標値		14,971	15,971	17,971	18,471	18,971

② 検証

- 新型コロナウイルス感染症により、ワークショップ実施回数は目標値を大きく下回った。
- ミナミハラアートウォーク事業により、南原地区内で活動している芸術家、作家の方を活動内容と共に周知したことで、地区民の意識の変化が感じられた。
- 職員が常駐した施設でないことから、冬期間の施設管理や利便性の向上が課題となった。

(4) 今後の方向性

- 福王寺一彦氏が本市において制作している襖絵をはじめとした作品を展示し、市民が芸術文化に触れる機会を拡充していく。
- ミナミハラアートウォークの継続維持のため今後も共催事業としていく。
- 令和 4 年 4 月に、隣接地に南原コミュニティセンターが開館したことで、新たな事業の実施及びコミセン事業との協力体制の構築を目指す。

(5) 事業一覧

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）活用事業（円）

	事業名 (事業主体)	事業概要・実績	総事業費 (うち交付金)
1	芸術の杜事業 (芸術の杜事業実行委員会)	● 芸術の杜事業実行委員会負担金 ・青年会議所主催事業への共催 ・旧南原コミュニティセンターペイントイベント	500,000 (0)